

競技上の確認事項及び感染症防止対策について

- 1 開催期日 令和4年6月12日(日)
- 2 会場 花泉体育館 一関市花泉町老松水沢 209-1 TEL 0191-82-4060
- 3 開館・受付 開館 午前 9 時
入館時は必ず【健康チェックシート】を提出すること。(健康チェックシートは別に添付する)
ベンチスタッフ・随行審判員の変更の有無にかかわらず、受付時にチームスタッフ変更届を提出すること。但し、選手の変更は番号を含め一切認めない。
- 4 開会式・表彰 開会式は行わない。但し、午前 9 時 30 分より本部席前に於いて代表者会議及び随行審判員ミーティングを行うので、各チーム代表者及び随行審判員は集合すること。
閉会式は行わず、表彰は男子は 1 位～3 位まで、女子は優勝チームを表彰する。
- 5 大会使用球 男子 ミカサ製カラーボール「V300W」、女子 モルテン製カラーボール「V5M5000」を使用する。
- 6 競技開始時間 第 1 試合のプロトコール開始時間は午前 10 時。
全試合追い込み方式とし、第 2 試合以降は、換気、消毒作業のため、前の試合終了後 20 分後のプロトコールとする。
- 7 エントリー 試合毎のエントリー(コンポジ)は、必ず受付時に配布する用紙を使用すること。それ以外のもは受付ない。配布したコンポジからリベロプレーヤーを含む 14 名以内を選び、出場しない選手の番号、名前を横線で消して、第 1 試合は代表者会議終了後速やかに、第 2 試合以降は前の試合の第 1 セット終了前までに受付へ提出すること。
- 8 コートアシスタント(補助役員) 競技運営を円滑に進めるため、各チームに補助員(ラインジャッジ・点示)の協力をお願いする。
各試合のコートアシスタントは次の通りとする。
第 1 試合は、A コート 藤沢クラブから 6 名、B コート 大船渡三陸クラブ・OSHU LEGENDS から各 3 名、第 2 試合以降は前の試合の敗者から 6 名、男子決勝戦は A-2 の敗者から 6 名、女子決勝戦は B-3 の敗者から 6 名とする。
但し、随行審判員についてはこの限りではない。審判委員長の指示に従うこと。
(コートアシスタントの服装は、短パン及び素足は認めない)
- 9 コートの使用 片方のコートで試合中の場合は、ネットを使わずパスのみの練習を認める。同時に両コートが空いた場合は、監督同士の話し合いにより指示があるまで自由に練習することを認める。
- 10 感染防止対策 (1) 今大会は無観客開催とし、会場への立ち入りは大会役員、チーム関係者(ベンチスタッフ、エントリー選手)のみとする。
(2) 入場時には受付へ【健康チェックシート】(大会開催日を含め、2 週間前からの健康状態、検温記録)を必ず提出すること。また、入館時は必要に応じて検温を行うので、係の指示に従うこと。【健康チェックシート】を提出しない場合、館内への入場はできない。
(3) 館内では原則として常時マスクを着用すること。また、手洗い、手指消毒などの基本的感染症防止対策をこまめに行うこと。

- (4) 試合中も、コートでプレーしている選手以外は常時マスクを着用し、待機時やベンチでは極力座席を空けること。なお、ベンチやアップゾーンからの声を出しての応援は出来ない。また、同様にギャラリーのエントリー以外の選手やチーム関係者(家族・応援者等)も声を出しての応援は出来ない。
- (5) コートアシスタント、審判員は必ずマスクを着用すること。また、審判員は飛沫防止として【ホイッスルカバー】を装着しても良い。
- (6) 感染予防の観点から、メンバーチェンジの際のナンバーパドルは使用しない。
- (7) 試合前後の選手同士及びチームキャプテン(ゲームキャプテン)からの審判員への握手は行わない。
- (8) ボール等の競技用具は試合終了後毎に競技委員が消毒作業を行うが、ベンチについてはチームに消毒作業の協力をお願いするので、チェンジコート時や試合終了後は、消毒作業を行ってからコートを明け渡すこと。
- (9) チームの飲み物の空き容器、ゴミ等は館内に置かず、チームの責任として必ず持ち帰ること。また、アイシング等に使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないこと。
- (10) チーム責任者は、参加する選手・スタッフ・関係者の健康状態を把握し、体調管理を徹底させること。
- (11) 大会前日(会場入り前)までに陽性者や濃厚接触者等が確認された場合、その該当者は今大会への参加は認めない。
- (12) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる場合は、その該当者と他選手・スタッフを接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関へ受診させる。しかし、該当者がPCR検査を受診することになった場合は、そのチームは参加を取りやめ、自宅待機をし、保健所の指示を待つ。

11 そ の 他

- (1) 今大会は、給水の為のタイムアウトは適用しない。
- (2) ベンチスタッフの服装について
 - ① ジャケットを着用するか、統一された服装で襟付きのものを着用すること。
 - ② 公認メーカー以外のものを着用している場合、ベンチ入りは認めるが、公認メーカー製のウェアの着用をお願いする。
- (3) アンダーウェアは、ユニホームの襟や裾、首等からはみ出してはならない。
- (4) 会場使用については、下記に留意し係の指示に従うこと。
 - ① アリーナ・トイレ・更衣室等使用を指定された場所以外は立ち入り禁止とする。
 - ② 上履き、外履きの区別を厳格にし、土足は絶対に禁止する。
 - ③ 会場の施設、設備を破損・汚損した場合は、直ちに大会本部へ申し出ること。
 - ④ 駐車場を含み会場敷地内はすべて禁煙とする。
 - ⑤ 貴重品の管理は各チームで責任をもって管理すること。
 - ⑥ 退館時は体育館の美化・清掃のご協力をお願いする。

審判上の確認事項

- 1、 本大会は、2022 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則を適用する。
- 2、 ベンチスタッフ及び選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
- 3、 3 セットマッチの 1 ボール・システムとする。
- 4、 公式練習は、3 分ずつとし、合同練習の場合は 6 分間とする。
- 5、 今大会は、給水のためのタイムアウトは適用しない。
- 6、 ジャージ、パンツ、ソックスまでの色とデザインはチームで統一されなければならない。
(リベロ・プレーヤーは除く)
- 7、 ユニフォームを着替えるときには、ゲームキャプテンが主審の許可を得てセット間に行く。
(アリーナでの着替えはできない。)
- 8、 軽度の不法行為は、罰則の対象にはならない。主審には、チームの罰則のレベルに達しないように防ぐ義務がある。これは 2 段階で処置される。
ステージ 1： ゲームキャプテンを通じて口頭での警告をする。
ステージ 2： 該当する選手にイエローカードを使用して警告する。
※ この警告はそれ自体が制裁ではないが、その試合においてそのチームメンバーが
(チームが)次から罰則になることを示している。これは記録用紙に記載されるが、
直ちに罰則を受けることにはならない。
- 9、 ラリー中、監督は記録席に一番近いベンチに着席し、必要があれば許可されたスペース
内で立ち上がって指示を与えても良い。
- 10、 競技者交代時ナンバーパドルは使用しない。
- 11、 ゲーム中のコートワイピングは、コート内の競技者自身で行うこと。
- 12、 監督は、試合開始前、記録用紙に記載されている競技者の中からリベロ・プレーヤーを
指名し、記録員に伝え記録員が記入した後に、記録用にサインをする。